

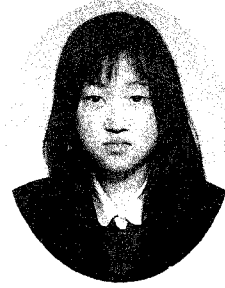
姉妹校留学を振り返って

桂高校二年 金子みか

平成八年度、桂高校長期留学生として私は都留市の姉妹都市であるヘンダーソンビル市のビーチ高校へ行ってきました。留学は、八月から十二月までのおよそ五カ月間でした。

中学生のころからの夢であった留学がかない、その喜びはひとしおでした。当然出発前は、不安な気持ちよりも、期待感がふくらむばかりでした。

しかし、いざ飛行機に乗り、周りが外国人ばかりになると、一人で大丈夫かなと、とても不安な気分



持ちになりました。飛行機の中で、私が一人でいるのを知って声を掛けていろいろと教えてくれた日本人の方や、空港で親切にしてくれた方がいました。そして、こわがって臆病になるよりは、やっぱり経験しなければ、すべてが自分の物にはならないと感じました。



ヘンダーソンビル市へ行って、全くさびしくなかった訳ではなく、やはり最初の二週間、日本を思い出し、涙ぐんでしまうこともありましたが、でも、私のそうだった不安は、すぐに解消されました。なぜなら、アメリカ人はみんなとても明るく、楽しい人ばかりで、何よりも、見るもの、聞くもの、すべてが私にとって始めてで、いつまでもおちこんではいられたかったからです。

はじめてビーチ高校へ登校した日、なんだかすこく、緊張して、怖かったことを覚え

ています。しかし学校でも、その緊張はすぐなくなりました。というの、周りの人達が、私をすぐ受け入れてくれ、友達として扱ってくれたからです。これは、私にとってとてもおどろきでした。とかく日本人は、外国人というだけで、敬遠しがちなのに、アメリカ人は、なんでこんなに仲良くできるのだろうかと思いました。

アメリカの学校は、自分の好きな教科を選択し、毎日それを学び



ます。英語・美容師学・地理学・数学……。授業も、日本の高校とは異なっていて、とても新鮮で楽しかったです。しかし、学校では、授業以上に、友達との交流が、何よりもとてもよい思い出になりました。

英語が話せるようになるにつれ、ビーチ高校での生活は、ますます楽しくなった感じがします。その中で私の生活を支えてくれた、ホストファミリーのポッツさん一

家との生活はとても楽しく、夢のような五カ月間でした。私をまるで、本当の子どものように扱ってくれたポッツさん一家との生活の中で、私は、アメリカの生活様式、人々の考え方など、以前から私が興味をもっていたことも、学ぶことができました。

このアメリカ留学の中で、一番感じたことは、アメリカ人は、なんて大きな心を持っているのだろう、そして、しっかりとした自立心を持っているということです。

英語力をアップさせることが、私が留学を希望した一番の理由でした。しかし、帰ってきた今、思うことは、多少の英語力はついたと思いますが、それよりも、これから生きていく上で、人間は、いつでも親切な心を持ちつづけ、助けあって生きていくことが大切だということを感じました。

私はいつかまたヘンダーソンビル市を訪れたいと思います。そして、これからは、この留学を通じて、少しでも、都留市とヘンダーソンビル市の友好のための力になれたら光栄だと思っています。

私の留学にあたり、いろいろとご配慮してくださった、都留・ヘンダーソンビル友好委員会の皆様、都留ロータリークラブの皆様、桂高校の先生方、両親、そして、すべての私をばげましてくださった方々、心より感謝申し上げます。

甲斐東部材製材協同組合 スタッフ募集

東部地域は、山の占める割合が多いことから、森林資源が比較的に成熟している地域ですが、その資源を利用して素材生産から加工・流通・販売に至る各段階は、決して盛んとはいえず、相互の連携も充分ではないのが現状です。

そこで、近い将来に到来するであろう県産材時代に備えるため、生産から加工・流通までの一貫した地域材の安定供給基地を作ることに、緊急の課題となっています。

このようなことから、県では東部地域の豊富な森林資源を活用するため、四月から製材協同組合を設立し、製材・プレカットの部分を稼働させることになり、次のとおりそのスタッフを募集します。

- 事務職員(女性) 1名
 - 製材機械オペレーター 2名
 - フォークリフト運転 1名
 - 資格 40歳くらいまで
 - 月給 15万~22万円
- 応募方法
電話連絡の上、履歴書を郵送してください。面接等は後日連絡します。
- 連絡先
甲斐東部材製材協同組合
事務局 大月市役所農林課
☎(22) 2111 内線343